

子ども参画ミーティング「考えてみよう！子どもの条例」の実施結果について

「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」の制定検討にあたり、当事者である子どもたちが自由に意見を述べ合い、子どもの権利や条例案等について考えるイベントを下記のとおり実施しましたので、ご報告いたします。

1 日時

2023年5月14日(日)

14:00～16:15

2 会場

市庁舎3階 会議室3-2・3-3



3 参加者

中学生から概ね18歳までの子ども

21名

(中学生8名、高校生9名、大学生4名)

4 イベント周知方法

- 子どもセンターでの周知
- 市内学校での周知
- 広報まちだへの掲載
- まちだ子育てサイト・SNS等での情報発信



5 ディスカッションの内容

各グループ5名程度の5グループに分かれ、次の3つのテーマでディスカッションを行いました。

- (1) 「子どもにやさしいまち」ってどんなまち？
- (2) 「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」ってなんだ？
「条文」を読んでみよう！
- (3) 「前文」を読んで考えてみよう！※

※「前文」は、2023年5月14日時点のものと2023年2月16日(2022年度第4回町田市子ども・子育て会議)時点のものを使用

6 ディスカッションで出た子どもたちの主な意見

テーマ（1）「子どもにやさしいまち」ってどんなまち？

子どもにやさしいところ	子どもにやさしくないところ
<ul style="list-style-type: none"> ☺ 遊ぶ場所が多い ☺ 子どもセンターがある ☺ 子どもセンターが多いところ 	<ul style="list-style-type: none"> ☹ 公園がない ☹ 遊具がない ☹ 自然がない ☹ 治安が悪い ☹ 歩きタバコ、たばこを吸う人がいる
<ul style="list-style-type: none"> ☺ 学割 ☺ 医療費 ☺ 学校の教材費がかからない ☺ 部活の費用を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ☹ 高校生だけ時給が低い ☹ 年金
<ul style="list-style-type: none"> ☺ キツイ言葉を使わない ☺ 色んなことに挑戦させてくれる ☺ やりたいことをやらせてくれる ☺ 生きられる ☺ 育ててくれる ☺ 遊ばせてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ☹ 門限 ☹ スマホの制限 ☹ 校則、規則、家のルール ☹ 子どもの欲を抑制する
	<ul style="list-style-type: none"> ☹ キツイ言葉を使う ☹ 虐待、暴力 ☹ 意見を聞かずに決めつけてしまう ☹ 子どもと大人で、できることとできないことがある ☹ 他家の子と自分を比べる



【こんなまちが子どもにやさしいまち】

- 子どものために聞いて考えて行動してくれるまち
- 子どもの意見を尊重して、実現してくれるまち
- 理不尽な規則がなく、子どもの金銭状況を気にしてくれるまち
- 欲が尊重されるまち
- もっと自由があるまち

テーマ（２）「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」ってなんだ？
「条文」を読んでみよう！



【「条文」を読んでみた感想】

- 条例だと堅苦しい。
- 固いけれど、半分くらいはわかった。
- かしこまった書き方なので、小学6年生くらいで理解できる方が良いと思う。
- 内容は良い。
- 子どもと大人の認識はズレていないと思うので、わかりやすくした方が良い。
- 具体例がもっとほしい。
- 思うことがない。
- 大人ができない（子どもの権利を守れない）場合は、罰則をつけてほしい。
- みんなが守ればやさしいまちになると思うが、これを見てもみんなやらないと思う。

テーマ（３）「前文」を読んで考えてみよう！

【良いところ・好きなところ】

- 「子どもにやさしいまち」というのが強調されてて◎
- 言っていることが分かりやすい。
- 文字が少ない。
- 段落分けされている。
- ポエム好き！
- 最初の前文をもっと分かりやすく砕いて作っているところ！
- 子どものために努力して寄りそってくれている！
- 「議会や市役所はもちろん、……子どもにやさしいまち」が良いと思った。
- 「子どもたち自身が、自分にとって大事なことを……決められるまちであること」のところ。
- 「意見を言い、実行しているまちであること」のところ。
- 「町田市は……「子どもにやさしいまち」を目指します」のところ。
- 「子どもたちの視点に立ち」のところ。

【〇〇したら、もっと良くなる】

- 文言統一
- まちだを漢字にしろ！
- ポエミーをつらぬけ！
- 「！」とかのマークを全てにつける。
- ひらがなを「 」にする。
- 強調したいところに「 」をつける。
- 韻とか踏んで聞こえやすくする。
- 大人が枠をつくる
⇒中高生に読ませて分かりやすいように砕く
⇒小学生がチェックして直したりする



【みんなに知ってもらうには、こうすれば良い】

- SNSで宣伝
→もっと気軽に参加できるようにする。
- 新聞の広告にはさむ。
- CMをつくる。
- 曲をつくる。
- 子どもたちに読み聞かせ
- ポスティング
- 入学、入園時の資料に入れる。
- 母子手帳交付の時に一緒に配布する。
- 学校や家庭におく。
- 学校の教育に組みこむ。



【その他】

- 参画ミーティングのように、意見を聞いてくれる場があるのが子どもにやさしいと思う。
- 今回のようなことを意識したことがなかったのに、義務的に啓発した方が良い。
- まず子どもではなく、大人（特に保護者）に伝えてほしい。



7 【参考】ワークシートで出た子どもたちの意見（抜粋）
～「6ディスカッションで出た子どもたちの主な意見」以外の意見～

①条例の前文を読んで、感じたことを書いてみよう！

- 本則よりも子どももわかりやすく、読んでみようと思える（言葉の言い方や文章の量）。
- 本則よりある程度やさしくわかりやすい文章になった。
- まち全体で子どもを支えようという気持ちが伝わる。
- 下の文は大人向けなのかなと思った。

②前文の歩みを聞いてみて、印象が変わったことや考えたことを書こう！

- 新しい方は「子どもにやさしいまち」というワードがたくさん出てきて読みやすい。
- 最初の前文は、漢字が読める人に向けて書いてあるのかなと思った。
- 前の前文は言葉は難しいが、意見を言える立場の中学生以上なら理解できる。
- 今の前文のやさしめの言葉のところは、小さい子たちが理解してくれれば良いところなのかなと思った。

③前文の良いところ、好きなところを書こう！

- 自分がやりたいと思ったことをやってほしいとの思いが伝わってくる。
- ”まち”が平仮名なところ。

④現在の前文をもっと良くするには、どうしたら良いだろう？

- 少しひらがなが多すぎる。特に1段落目。
- 「つながり、協力している」を「協力しあう」にする。

⑤この条例を子みんなに知って、活用してもらうためには、どうすれば良いだろう？

- 今回のイベントみたいなことを子どもセンターでやる。
- CMを作り、市役所の待合スペースで流す。